



# マイバッグを使おうよ!

「ジャスコみぶ店」  
「ヤオハンおもちゃのまち店」は、  
「壬生町におけるレジ袋削減に関する協定」により、  
平成27年3月1日からレジ袋の  
無料配布が中止になります。



レジ袋の削減には、ごみの減量化、地球温暖化の防止のほかに、環境にやさしいライフスタイルへと変えるきっかけにする目的があります。

レジ袋からの二酸化炭素排出量は、1枚当たり46.55g（1枚=10g、レジ袋を製造、加工、焼却した場合）とされています。

週1回のお買物で1枚のレジ袋を辞退することができると、年間50枚のレジ袋を削減することができます。4万町民ですと、年間約200万枚が削減でき、約93トンの二酸化炭素を削減することができます。

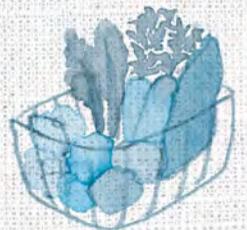
マイバッグ、マイバスケット等によるお買物にご協力をお願いします。



年間の  
CO<sub>2</sub>削減量  
約93t

すでに地球温暖化防止のために、  
レジ袋の無料配布を中止している店舗

- カスミ壬生店
- コープおもちゃのまち店
- シンユーストア



●私たちは、レジ袋削減の取組みを支援します●

壬生町 壬生町商工会 壬生町消費者友の会 壬生町女性会 壬生町母親クラブ プラチナキッズ

問合せ先

- 町民生部保険環境課環境保全係 ☎81-1834
- 壬生町レジ袋削減推進協議会

# できることから始めよう、火災予防!

## 「消したかな」あなたを守る 合言葉

春は降水量が少なく、空気が乾燥しており、強風が吹くといった気象条件のため、火災が発生したときの被害が大きくなりやすい傾向にあります。

平成22年中に石橋地区消防組合管内（壬生町を含む1市2町）で発生した火災件数は49件（前年比13件減）であり、壬生町では18件（前年比4件増）発生しています。

壬生町における火災種別では、建物火災が9件で全体の50%と最も多く、火災による管内全体の損害額は、15,609千円（前年比89,437千円減）となります。火災は貴重な財産ばかりでなく、尊い生命までも奪ってしまいます。くれぐれも火の元には十分気を付けてください。

## 住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

### 4つの対策

- 1 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 2 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する。
- 3 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器**等を設置する。
- 4 お年寄りや身体の不自由な方を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。



防災品

#### 住宅用火災警報器の設置について

既存の住宅を含めたすべてのご家庭に住宅用火災警報器の設置が義務になりました。大切な命を守るためのものです。早期の設置をお願いします。

また、訪問販売等の不適切な業者に注意してください。



### 3つの習慣

#### 1 寝たばこは、絶対やめる。

布団で一服……。寝たばこによる火災が怖いのは、ちょうど寝入った頃に発生するからです。



#### 2 ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。

暖房器具による火災の中で見逃せないのが、洗濯物を乾かす等の暖房以外の目的での使用によるものです。ストーブの上に落ちたりして、とても危険です。

ストーブ上の洗たく物  
ストーブ前のスプレー缶など



#### 3 ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

ガスこんろの火に鍋をかけたまま、“ちょっとの間”と思って電話に出てる最中に、火事になってしまったケースが多々あります。





## 新成人の門出を祝う

— 第62回 壬生町 —

# 成人式

20歳の門出を祝う第62回成人式が、1月9日、壬生中央公民館大ホール及び南犬飼中学校新体育館において行われました。

今年成人を迎えた405名のうち339名が式に参加し、受付、式典及びアトラクションの運営を成人式運営委員が執り行いました。

壬生中央公民館大ホールの式典では、主催者側のあいさつを小菅一弥町長が行い、祝辞は市川義夫町議会議長、佐藤良良議会議員よりいただきました。

また、町民の歌は、壬生町民の歌広報大使の松山美由紀さんと壬生中学校吹奏楽部の皆さんに協力していただきました。

南犬飼中学校新体育館の式典では、主催者側のあいさつを森田益夫副町長が行い、祝辞は細井敬一町議会議長、福田静江社会教育委員長、佐藤勉衆議院議員よりいただきました。

当日は、寒波の影響で厳しい寒さでしたが晴天に恵まれ、式典は厳粛に行われました。

恒例のアトラクションでは、中学時代の恩師からのあいさつやスライドショー、抽選会などが行われ、旧交を温めていました。その後、クラスごとに集合写真を撮り全日程が終了しましたが、会場の外では、近況を報告しあったり写真を撮りあったりと久しぶりの再会を楽しんでいました。

清水 優介



私たちは、平成2年・3年生まれの新成人です。私たちが成長してきたこの20年の間には、経済状況や

多様な価値観など、急速に大きく変化しました。ところがたくさんあるように思います。昨年は、羽田空港の国際化や東京スカイツリー建設・はやぶさの帰還など明るく勇気付けられた話題がありました。30年に一度と呼ばれる記録的猛暑や就職難などは、閉塞感を一層強く感じさせるものでした。

今日から私たちは大人の社会に一步踏み出すこととなります。私たちには、学業に励んでいる人、職業に従事して

山ノ井 公瑛



私たちが中学校を卒業してから5年という長い歳月が流れました。私自身、高校、大学と進学してか

ら沢山の友人に出会い、数々の思い出も増えていきました。しかし、この南犬飼中学校での3年間は、今でも鮮明に

いる人、将来の道を模索している人、そして家庭を持つている人など立場は様々です。大人の社会では、想像もつかない状況になるかもしれません。そんなときは、「はやぶさ」のようにチームワークで乗り越えていきたいと思えます。

今日、私たちがこうして集い、成人式を迎えられるのは、切磋琢磨して共に歩んできた仲間たちのおかげです。私たちは、自分の行動に責任を持ち、社会の一員として自分たちの理想を実現するため、常に向上心を持って生活していきます。今まで、ご指導してくださった先生方、見守ってくださった地域の方々、支えてくださった両親や家族、ありがとうございます。また、これからもよろしくお願いいたします。この感謝の気持ち、そして成人としての決意を忘れず、精一杯努力していきたいと思えます。

覚えていきます。そして、中学校生活での楽しかったことや辛かったこと、悔しかったことなどの思い出が、今の私を支えてくれています。

これからは成人者としての責任をもつて生活していきます。時に、大きな困難に苦悩し、くじけそうになることもあるでしょう。しかし、今まで学んできたことや、新しい出会いを心の支えにして、一歩一歩確実に自分の道を進んでいきたいと思えます。今後とも皆様のさらなるご指導をお願い申し上げます。



祝  
成人式  
2011



# 国保だより

## 国民健康保険の届出について



下記の事由により国民健康保険資格に変更が生じたときは、町役場窓口もしくは出張所へ14日以内に必ず届出してください。

※印鑑（認印）を必ずお持ちください

	事 由	手続に必要なもの
国民健康保険に加入	他の市区町村から転入したとき	転出証明書
	職場の健康保険を喪失したとき	・健康保険資格喪失証明書 (被扶養者がいない場合は退職証明書でも可) ・年金証書(年金受給者の方)
国民健康保険を喪失	他の市区町村に転出するとき	国民健康保険証
	職場の健康保険に加入したとき	国民健康保険証と加入した社会保険証
そ の 他 届 出	壬生町内で転居したとき	国民健康保険証
	世帯主や世帯員に変更があったとき	国民健康保険証
	修学などのため他市区町村へ住所を変更するとき	国民健康保険証と在学証明書など
	修学により壬生町国保を取得していた方が卒業・退学したとき	国民健康保険証と卒業証明書(卒業証書)・退学証明書など

※国民健康保険証を紛失したときは、印鑑と本人確認のできるもの（運転免許証等）を持参の上、ただちに保険証の再交付申請をしてください。

★壬生町国民健康保険の資格を喪失したときは、医療機関等で壬生町国民健康保険の保険証を絶対に使用しないでください。上記のとおり、保険証を返還のうえ届出いただきますようお願いいたします。

## 70歳から74歳までの窓口自己負担割合について

医療機関窓口で支払う自己負担額の割合の2割への引き上げが、平成23年4月から、さらに1年間延長される予定です。

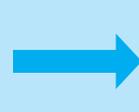
平成23年3月まで

平成23年4月から平成24年3月まで

1割負担



~~2割~~



1割負担

(1年間延長されます)

※新しい高齢受給者証は3月末までに郵送いたします。(1割負担の方のみ)

## 平成23年度分 壬生町国民健康保険 人間ドック・脳ドック検診費用助成金 申込受付について

平成23年度分の助成をご希望の方は、下記により受付いたしますので、申請をお願いいたします。

### 一斉受付

- 日 時 **4月8日(金)** 8:00から整理券配布  
8:30から整理券番号順に受付
- 場 所 **壬生町保健福祉センター**  
※一斉受付終了(12:00を予定)後の申請は、  
随時、役場保険環境課で受付いたします。
- 持参していただくもの ●壬生町国民健康保険証  
●印鑑(認印)



### 助成対象者

- 下記のすべての項目に該当される方
- ① 壬生町国民健康保険に加入している被保険者
  - ② 検診時に年齢35歳以上75歳未満の方
  - ③ 壬生町国民健康保険税を完納している世帯に属する方

### 助成金額

ドック助成の種類	コ ー ス	助 成 額
人間ドック検診助成	日帰りコース	20,000円
	1泊2日コース	30,000円
脳ドック検診助成	日帰りコース	20,000円

- ◎ 検診医療機関及び検診日程につきましては、受付当日に会場でお知らせいたします。  
また、申請書類等は会場に備え付けますので、当日会場でご記入いただきます。

## 国民健康保険高額療養費の申請に 必要な領収書について

国民健康保険の高額療養費の申請の際には、医療機関等で発行された領収書をご提示いただいております。

確定申告等で医療費控除を受ける場合は、領収書の原本の添付が必要となります。  
医療費控除を受ける方で、高額療養費に該当すると思われる方は、あらかじめ領収書の  
コピーをとっておいていただきますよう、ご協力お願いいたします。

# 家庭で 不要になったパソコンは

## メーカーに直接回収を申し込みましょう



家庭での使用済パソコンを有益な資源として、再利用するために、平成15年10月1日から「資源有効利用促進法」にもとづいた“PCリサイクル”が実施されております。

この“PCリサイクル”により、鉄・銅・アルミ・プラスチックはもちろん、金・銀・コバルトのような希少金属まで、資源として再利用できます。この“PCリサイクル”は消費者の皆様とメーカー等が協力して次のように実施しています。

### “PCリサイクル”の対象となる機器は、下記の通りです。

- ① デスクトップパソコン
- ② ノートパソコン
- ③ CRTディスプレイ（一体型パソコン含む）
- ④ 液晶ディスプレイ（一体型パソコン含む）

- ※1 ご購入時の標準添付品（マウス、キーボード、ケーブル等）も一緒に回収します。
- ※2 マニュアル、FD・CD-ROM等の記憶媒体、プリンタ等の周辺機器、ワープロ専用機、PDA（携帯情報端末は対象となりません）。

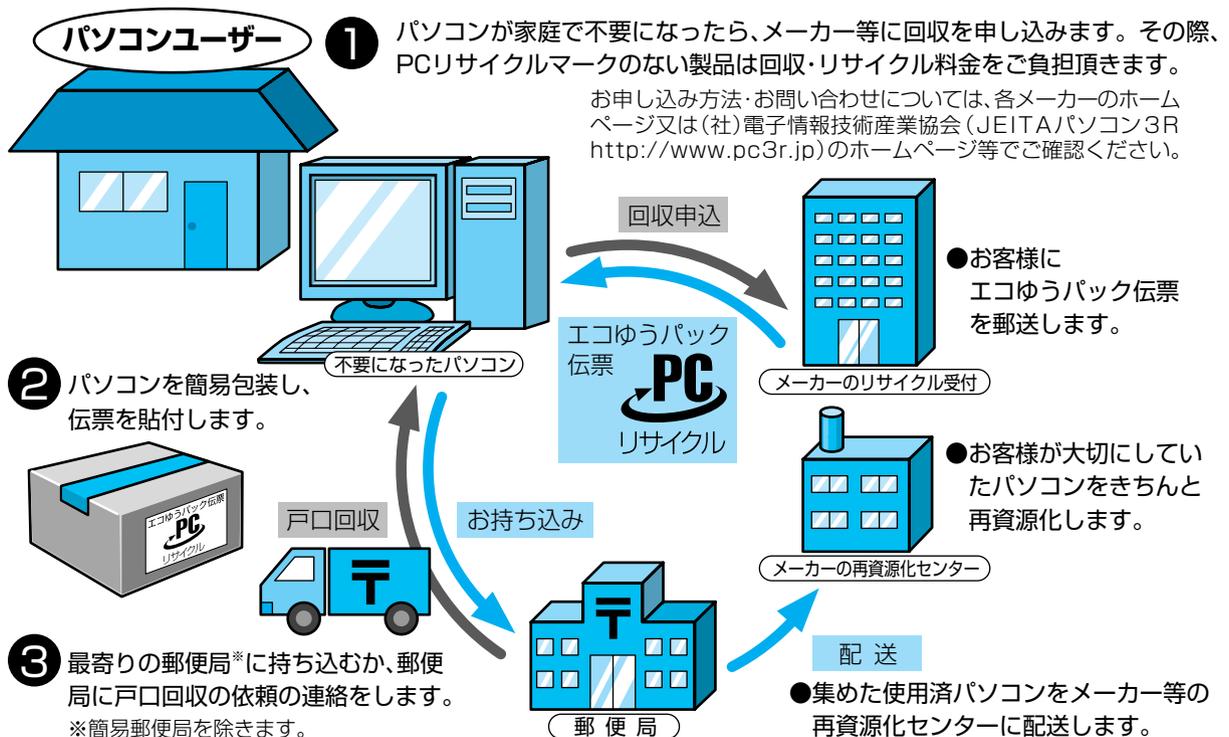
### 左記の機器が不要になりましたら、 下記のような手順で リサイクルを実施いたします。

- ① パソコンのメーカーに直接回収を申し込みます。  
※ “PCリサイクル” 開始前に購入したものは、回収再資源化料金がかかります。
- ② パソコンを簡易梱包し、メーカーから送付されてくる“エコゆうパック伝票”を貼付します。
- ③ 最寄りの郵便局に持ち込むか、郵便局に戸口集荷を依頼します。
- ④ 集められた使用済パソコンは再資源化センターに配送され、再資源化されます。

なお、回収するメーカーがない場合や、メーカーが明らかでない場合は、有限責任中間法人「パソコン3R推進センター」が、有償で回収・再資源化します。

◎問合せ先 ●パソコンメーカー各社  
●パソコン3R推進センター  
☎03-5282-7685

URL <http://www.pc3r.jp/uketsuke.html>



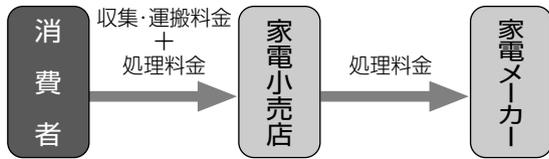
# 家電リサイクル対象器機に

# 液晶テレビ・プラズマテレビ、衣類乾燥機 が加わります



## 1 対象機器を買換える場合や 購入した小売店がわかっている場合

小売店に引取ってもらいます。その際に、処理料金（リサイクル料金と収集・運搬料金を小売店に支払います。



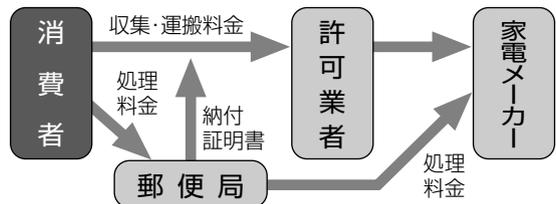
家電リサイクル法の対象機器



## 2 左記以外(買った小売店が不明、 通信販売で購入など)

壬生町一般廃棄物処理業許可業者（許可業者）に収集・運搬を依頼します。

その際、事前に最寄りの郵便局で処理料金（リサイクル料金）を（財）家電製品協会家電リサイクルセンター（RKC）に振込み、納付証明書を家電製品に添付します。許可業者には、収集・運搬料金のみを支払います。



※許可業者につきましては、**下表**に掲載しています。

## ※エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機を廃棄する場合は

**処理料金(リサイクル料金)** (消費税込) + **収集運搬料金** が必要となります。

リサイクル料金は清掃センターへ、  
収集運搬料金は下記業者へ  
お問合せください。

**注1** テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン・衣類乾燥機をごみステーションには**絶対に出さない**でください。

**注2** テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン・衣類乾燥機は、**清掃センターでは取り扱いません**ので、**持ち込まない**でください。



## 壬生町一般廃棄物処理業許可業者一覧表 (家電6品目収集運搬業者)

No.	業者名	住所	電話番号	No.	業者名	住所	電話番号	No.	業者名	住所	電話番号
1	株式会社大商	栃木市惣社町2181	0282(27)8248	13	有限会社関東実行センター	小山市花垣町1-12-10	0285(23)3026	25	栃木清掃サービス株式会社	栃木市片柳町2-32-4	0282(25)1014
2	企業組合とちぎ労働福祉事業団	宇都宮市西川田7-1-2	028(645)5561	14	宇都宮興産株式会社	宇都宮市陽南1-2-2	028(658)5291	26	有限会社ごみやさん	鹿沼市米町3-34-9	0289(65)5221
3	相良運輸株式会社	宇都宮市今宮4-5-36	028(684)2100	15	有限会社高久建工	壬生町大字羽生田1733	0282(82)9418	27	株式会社真田ジャパン	那須塩原市井口198-1	0287(36)1148
4	有限会社大林環境サービス	下野市上古山8-5	0285(53)5584	16	Eイチエス株式会社	宇都宮市下荒針町3406-4	028(649)3663	28	有限会社坂本商事	栃木市岩川城内町2989-4	0282(30)1120
5	有限会社マルショー	壬生町大字安塚1857-1	0282(86)5443	17	有限会社静井商会リサイクル	大平町西水代2534-1	0282(43)8788	29	三正運輸株式会社	小山市扶桑1-8-17	0282(82)4100
6	栃南産業株式会社	下野市下古山947	0285(53)5557	18	株式会社県央資源総合リサイクル	下野市石橋693-8	0285(53)5782	30	さわやかクリーンサービス株式会社	さくら市上野159-2	028(681)6622
7	有限会社ミサキ商事	壬生町大字藤井1842	0282(82)1776	19	野澤総業	宇都宮市下栗町1459-3	028(656)1523	31	有限会社栃北興業	栃木市平柳町1-5-12	0282(27)5336
8	戸崎商店	壬生町大字藤井1734	0282(82)2542	20	有限会社セイゴウ	宇都宮市平出工業団地43-120	028(613)3860	32	篠原運送店	壬生町大字藤井2438-6	0282(82)7589
9	鈴運メンテック株式会社	宇都宮市鶴田町920-1	028(648)6241	21	有限会社アタカサービス	宇都宮市石井町365-11	028(656)6250	33	関東資源株式会社	真岡市荒町5218	0285(84)1161
10	程塚商事株式会社	宇都宮市元今泉3-8-5	028(653)5282	22	有限会社ファーストコーポレーション	宇都宮市満美穴町25	028(667)5430	34	中川商事	宇都宮市石井町3413-63	028(656)5586
11	いずみ産業株式会社	宇都宮市下平出町198-2	028(664)1115	23	有限会社岸興業	栃木市野中町1381-11	0282(23)5212	35	株式会社中日産業	壬生町大字安塚1716	0282(86)3163
12	株式会社目黒商事	宇都宮市上野町6078-1	028(661)5827	24	有限会社協栄技研	日光市木和田島2083-11	0288(26)2648	36			

◎問合せ先 ●壬生町清掃センター ☎82-3424

# 引っ越しの季節到来

各種届出もお願いいたします！

いよいよ引っ越しの季節到来です。進学や就職、転勤などで引っ越しをされる方は、必ず届出をしてください。詳しくは「くらしの便利帳2009年度版」やホームページをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。

各種届出のときは、**届出にきた方の本人確認書類**（免許証や保険証など）と**ご印鑑**が必要になります！

引っ越しの内容	届出の種類	届出の期間	注意事項
壬生町内で引っ越しをしたとき	転居届	引っ越した日から <b>14日以内</b>	
他市区町村から壬生町に引っ越して来たとき	転入届	引っ越した日から <b>14日以内</b>	前市区町村の転出証明書が必須です
壬生町から他市区町村へ引っ越すとき	転出届	引っ越しする予定の日の前後 <b>14日以内</b>	

※上記届出の際、その他関連する手続きが必要になることがありますので、事前にお電話などでお問い合わせください。

**転校するときは**

●**町内の学校間での転校**  
転居届をする際に、転校前に在学していた学校の発行する「在学証明書」「教科書給与証明書」を持って手続きをしてください。

●**町外への転校**  
在学していた学校の発行する「在学証明書」「教科書給与証明書」「日本体育・学校健康センター」の加入に関する書類を持って、転校先の市町村教育委員会ですべての手続きをしてください。

●**町外からの転校**  
転入届をする際に、転入前に在学していた学校が発行する「在学証明書」「教科書給与証明書」「日本体育・学校健康センター」の加入に関する書類を持って手続きをしてください。

**お問い合わせは**  
町教育委員会  
学校教育課学校教育係  
☎ 81-11871

**進学のときは**

国民健康保険に加入されている方が、進学のため、他の市町村等に転出する場合、引き続き壬生町の国保に加入することになりますので手続きをしてください。

**必要なもの**

- 国民健康保険被保険者証
- 在学証明書又は学生証の写し
- 印鑑

**お問い合わせは**  
保険環境課国保医療係  
☎ 81-1836

**手続き先は……**

- ・ 町民生部町民生活課 ☎ 81-11824
- ・ 稲葉出張所 ☎ 82-11002
- ・ 南大飼出張所 ☎ 86-00004

**お問い合わせは**

- ・ 町民生部町民生活課 ☎ 81-11825 まで



# 水道の閉栓手続きを忘れずに！



- 引っ越しの日が決まりましたら、前もって水道課へ閉栓の手続きをしてください。（使用者ご本人からの手続きは、電話にてお受けしております。）ご連絡の際は、住所・氏名・引っ越し日時・引っ越し先をお知らせください。
- 引っ越しまでの水道料金（精算分）は、前回の検針日から引っ越しまでの使用量をもとに計算いたします。
- 連絡（閉栓の手続き）をいたしませんと、水道を使用されていなくても、引き続き料金がかかってしまいますので、必ず水道課へご連絡をお願いいたします。



問合せ先

町上下水道部水道課 ☎82-2260（徴収事務受託者 ㈱日本ウォーターテックス）

## 不法投棄は「犯罪」です。

廃棄物の投棄は、廃棄物処理法で禁止されています。しかし、不法投棄はあとを絶たない状況にあります。土地の所有者が、自らの土地を適切に管理し、不法投棄を防止するしかありません。不法投棄されて、不法投棄の行為者がわからないときは、土地の所有者が自ら片付けることになる場合もあるからです。

大量の廃棄物が不法投棄された土地を原状回復するには、時間も費用もかかります。廃棄物の不法投棄に気づいたら、早めに警察にご相談ください。

### 不法投棄されないためのポイント

- ① 土地を貸すときは、相手方や事業内容をきちんと調査しましょう。
- ② こまめに草刈をし、見通しのきくきれいな状態におきましょう。
- ③ 廃棄物を捨てられたら、次の廃棄物を呼ばないようにすぐに片付けましょう。
- ④ 自己の所有地に柵をつくったり、入口に鍵を設けたりして、進入されにくい環境を作りましょう。
- ⑤ 定期的に見回りをするなど、常に所有地の状況を把握しておきましょう。

不法投棄の情報・問合せ先

小山環境管理事務所 環境対策課 ☎0285-22-4309  
町民生部 保険環境課 環境保全係 ☎81-1834

## 総合型地域スポーツクラブ

文部科学省委託事業

栃木県体育協会指定クラブ

支援団体：壬生町・壬生町教育委員会

# 随時受付中

# クラブ会員募集!!!

ゆうがおスポーツクラブは  
皆様の入会をお待ちしております。

## 入会のご案内

### ■入会費用（年会費）

会員区分	会費(年)
一般	3,000円
シニア(60歳以上)	2,000円
ジュニア(中学生以下)	1,000円
スポーツ少年団加入者	500円
家族会員 (家族構成にて選択/同居)	5,000円
賛助会員	-口3,000円

### ■保険料金

区分	料金(年)
高校生以上	1,600円
65歳以上	800円
中学生以下	600円

## 各教室・講座等の参加について

### 1 スポーツ教室

#### ジュニアの教室

- ジュニアバドミントン
- ジュニアサッカー
- ジュニアミニバスケット
- ちびっ子レスリング
- ジュニアゴルフレッスン

#### 一般の教室

- ラージボール卓球
- フラダンス
- エアロビクス&ピラティス
- ゴルフ
- 硬式テニス
- 健康ウォーク心と体の教室
- 健康体操
- 筋力トレーニング
- 太極拳
- 家族でスポーツ

### 2 サークル事業

- ラージボール卓球

### 3 イベント事業

サッカースクール、ハイキング、スキー、サイクリング等

- 各教室の参加料は会員が100円となります。
- イベント事業は実費負担となります。



※注意 すべての活動は、ゆうがおスポーツクラブ会員の登録が必要となります。

**ゆうがおスポーツクラブ事務局**  
☎0282-51-6022 E-mail: yuugaosc@cc9.ne.jp



スポーツ振興クジ助成事業



# みんなで作る

# ゆうがおスポーツ



みんなで作る、みんなが主役の  
「総合型地域スポーツクラブ」  
いつでも、だれでもスポーツを楽しめるクラブを目指す  
このクラブに参加してみませんか



## クラブ 基本理念

**みんなで、汗を、笑顔を、ふれあいを！**

世代を超えて、いつまでも気軽にスポーツを楽しみ、  
健康で明るい活力あるまちづくりを目指す。

**目的** 老若男女を問わず、いつでも、だれでも、いつまでも、複数のスポーツに親しむことができる環境を整え、スポーツの振興と、地域社会における健康で豊かな生活の実現に貢献する。

**種目の多様性** 単一のスポーツ種目だけでなく、クラブ内で複数の種目を楽しむことができる。

**多世代** 年齢や世代にとらわれず、こどもから高齢者まで、地域住民の誰もが集い、興味、関心、体力、技術、技能に応じて活動できる。

**拠点施設** 活動拠点となる施設を利用し、定期的・計画的なスポーツ活動を行う。

**自主的運営** 多くの住民が会員になり会費を負担することで財政基盤が整い、よりよいクラブ運営が可能になります。地域住民が支え、運営するクラブです。



1/20

## 「農業委員会・認定農業者・消費者等」との意見交換会を開催

1月20日、壬生町農業委員会（松井晴夫会長）は、町役場正庁において「農業委員会・認定農業者・消費者等」との意見交換会を開催しました。この交換会は、「今後の農業の在り方と消費者等との関わり」について、消費者と生産者の相互理解を深めることを目的に企画され、今年で5回目となります。

今年も、消費者或いは生産者の女性団体の代表者総勢29名に参加いただき、活発な意見が交わされました。

消費者或いは生産者の女性団体からは、「安全で安心なもの、品質が良く味の良いものを」といった『食』に関する意見が出されました。

これに対して、認定農業者からは、「消費者の信頼を得るために、農薬の使用にあたっては、細心の注意を払って基準に違反しないようにしている。また、生産工程の記録をきちんと付け、消費者等の信用を失うことのないようにしている。」など、生産者として消費者に対し心掛けていたりことや農業後継者問題に関する発言がありました。

その他、今話題となっております「TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）」についても、意見が交わされました。



1/22

## 平成22年度壬生町男女共同参画講演会開催



講師の山本コウタローさん

1月22日に壬生中央公民館大ホールにおいて、教育委員会と女性団体連絡協議会の主催により男女共同参画講演会を開催いたしました。

「あなたらしくイキイキと～女（ひと）と男（ひと）のよりよい関係」をテーマに、フォークシンガーであり白鷗大学教授でもある山本コウタローさんを講師にお招きし、ライフパートナーとの「自然な関係」などを通じて男女共同参画の意義についてお話いただきました。

また、開会行事の後にアトラクションとして壬生町文化協会音楽部のコーラスも行われ、美しい歌声がホールに響き渡りました。



町文化協会音楽部



# まちのわだい



## むらおこし特産品コンテストで 審査員特別賞を受賞

11月26日、天志古商店（上稲葉）が、日本武道館で開催された平成22年度むらおこし特産品コンテスト食品部門において、全国商工会連合会長から審査員特別賞を受賞し、後日、受賞の報告に町長室を訪れました。

このコンテストは地域を代表する優れた特産品を表彰するものです。

壬生町商工会を経て出品した「5年味噌のだいこん一本漬」は、審査全般において優れており、消費者への訴求力や市場性が高く将来性が見込めるものとして審査員特別賞を受賞しました。

## 師走のステージで歌声を披露 壬生少年少女合唱団

12月23日、福田屋ショッピングプラザ宇都宮店の1階アトリウムにおいて、壬生少年少女合唱団のクリスマスコンサートが開催されました。

午後1時と3時に2回行われたミニライブでは、子どもたちがクリスマスソングやダンスを熱演し、年末の買物客やプレゼントを持った親子連れからあたたかい拍手と声援が送られました。

新版「壬生町民の歌」CDには、壬生少年少女合唱団による合唱バージョンも収録されています。



## こいぬまれいこ 人権擁護委員に鯉沼玲子氏が再委嘱される

鯉沼玲子氏（鹿島）が、平成23年1月1日付けで法務大臣から人権擁護委員に再委嘱されました。

人権擁護委員は、地域の皆さんの人権に関する悩みごとなどの相談に応じるほか、街頭啓発活動や小・中学生を対象にした人権講話・ビデオフォーラムなどを通して、人権の大切さについての理解を深めてもらうなど、人権意識の高揚にも努めています。

## よいそう手つながる心

### ● ● ● 社会福祉法人 栢の木会 ● ● ●

介護老人福祉施設 しもつけ荘

☎0282-86-0177 FAX.0282-86-3036

介護老人保健施設 みなと荘

☎0282-86-3710 FAX.0282-86-6322

認知症老人グループホーム うらら

☎0282-86-8600 FAX.0282-86-3036  
〒321-0207 栃木県下都賀郡壬生町大字北小林812

介護老人福祉施設 いしばし

☎0285-52-1487 FAX.0285-52-1488  
〒329-0502 栃木県下野市下古山1174

認知症老人グループホーム いしばし

☎0285-53-8866 FAX.0285-53-8585  
〒329-0501 栃木県下野市上古山569-1



見学・ご相談など  
お気軽にお問合せ  
下さい。



# まちのわだい



## 壬生町賀詞交歓会

1月7日、壬生中央公民館の中ホールにおいて、賀詞交歓会が開催され、町の商・工・農・行政など各界の代表者約400人が出席しました。

はじめに、「壬生町民の歌広報大使」である松山美由紀さんと共に壬生町民の歌を斉唱した後、主催者の小菅町長より新年のあいさつがありました。続いて、来賓祝辞をいただき、町商工会会長小林俊雄さんの発声により乾杯が行われました。

今年は、栃木県郡市町対抗駅伝大会に町単独で参加することになった壬生町駅伝チームの選手紹介が行われ、出席者からエールが送られるなど大いに賑わい、最後は、農業委員会会長松井晴夫さんの発声により、壬生町のさらなる発展を祈願して万歳三唱が行われました。

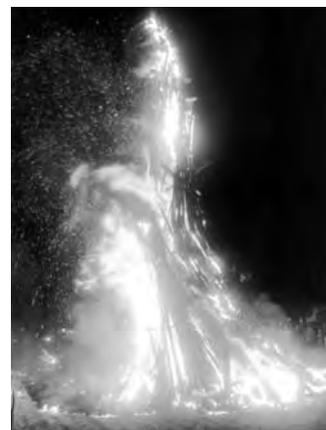
## 30年の伝統行事“どんど焼き”

### 今年も大盛況 上長田自治会

1月9日、上長田自治会（野澤収会長）では、第29回どんど焼きを盛大に開催しました。これは約30年続く伝統行事で、当日は約300名が参加しました。昨年12月5日に行われた前準備では、総勢70人程で高さ16mの櫓を1日がかりで組み上げました。

今年は、事前にとちぎ朝日および下野新聞に記事が掲載されたこともあり、地域外からも多くの参加者が集い、お汁粉、とん汁などが振る舞われました。

火入れが行われ櫓に火がつくと、激しく燃え上がり、竹が燃えるときの「ポンポン」という心地のよい音を聞きながら、年神様のお見送りと無病息災を祈りました。



## くめかわひでお 桑川秀夫さんが栃木県農業士に

1月11日、栃木県公館で行われた平成22年度栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士認定式において、本町の桑川秀夫さんが栃木県農業士に認定されました。

桑川さんは、昭和61年に就農以来、水稻及びハウストマトの栽培技術を確実に向上させ、安定した農業経営を展開しています。

また、壬生町認定農業者協議会副会長並びに県南農業共済組合副組合長として地域農業の発展に寄与するとともに、平成22年度からは、JAしもつけ壬生トマト部会会長として農業振興に尽力し、次代を担う農業振興のリーダーとして、今後の活躍が大いに期待されます。

## 「安塚駅西線開通式」を撮影・放送します！

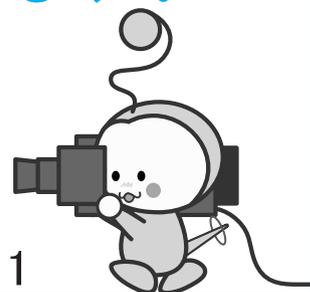
撮影日：3月3日（木）

放送日：3月4日（金）～9日（水）

「CC9ニュース」にて放送予定です！ぜひご覧ください。

※放送の予定は予告なく変更することがあります。予めご了承ください

栃木ケーブルテレビ お問い合わせはこちら  
TEL:0282-25-1811





## 観て、聴いて、一緒に楽しむ 児童館フェア開催

1月15、16日の2日間、壬生中央公民館中ホールにおいて、壬生町児童館フェアが開催されました。これは、子育て支援団体との交流を深め、児童館を中心とした地域のネットワークを強化することを目的としています。

1日目は、子育て施設指導者研修会が行われ、「こどもの城」協力のもと、子育て支援団体の指導者たちが実技による音楽表現を学びました。

2日目は、全国・海外で活躍されている「ガドガド」

を招き、『ファミリーコンサート』が行われました。観て、聴いて、一緒に楽しむ事ができる参加型コンサートの生演奏に触れ、子どもたちはリズムに合わせて体を動かし、音楽の楽しさを感じていました。

## “ミニミニどんど焼きで無病息災を！” 夢くらぶむつみ

1月16日、渡邊信さんの栗林において、NPO夢くらぶむつみと六美南部育成会が共同でミニミニどんど焼きを開催しました。

これは、渡邊さんの「地域の人々の関係が希薄になりつつある現在、子ども、お年寄りを中心に地域の人々の交流を広げ、支えあって暮らすことを大切にしよう」という発案で始まり、今年で7回目を迎える恒例行事となっています。

参加者は、持ち寄った正月の神飾りが飾られた“どんど”を勢いよく燃やし、用意されたとん汁やお汁粉、焼き鳥等を頬張り、お神酒を酌み交わしながら思い思いに交流を深めました。

どんどの周りでは、「おき火」が出来ると、用意された繭玉を焼き無病息災を祈りました。



## 介護予防運動ボランティア養成講座 ～明日の私のために、そして誰かのために～

1月17日から保健福祉センターにおいて、町が実施主体、受託者が町社会福祉協議会による介護予防運動ボランティア養成講座が全6回実施されました。

これは、高齢者ができる限り要介護状態になることなく健康で生き生きとした生活を送れるよう、介護予防事業をはじめとする多くのニーズに応えられる協力者を育成することを目的としており、受講者たちは実技を交えながら楽しく学んでいました。

また、1月18日からは傾聴ボランティアスキルアップ講座が全3回実施され、「傾聴とは」というテーマに対して意見を出し合いながら、意欲的にスキルアップに取り組んでいました。

# ステラ獨協前保育園

平成23年4月1日オープン



【法人本部】  
栃木市田村町928番地  
TEL 0282-27-3969  
FAX 0282-27-5408  
<http://www.sfk.or.jp/>

\* 介護老人福祉施設  
特別養護老人ホーム 代官荘  
\* 介護老人保健施設 ノイエ シュテルン  
\* 星風会ケアハウス ケアルネッサンス  
\* 重度心身障害児施設 星風会病院  
\* 障害者支援施設 悦山荘

# まちのわだい



## おやこの食育教室

1月20日、壬生町食生活改善推進団体連絡協議会は、しもだい保育園の年長組親子を対象におよこの食育教室を開催しました。

「家ではなかなか子どもと一緒に料理をする機会がないので、貴重な楽しい時間を過ごすことができよかった。」と保護者から大変好評で、子どもたちもとても楽しんでいました。

最後に、家庭でも親子で料理をしてほしいとの思いが込められ、会員から親子でおそろいのパンダナがプレゼントされました。

## 子育て応援！ママのためのメンタルヘルス講座

1月22日、保健福祉センターにおいて、栃木県地域医療に係る県民協働事業の一つとして、壬生町母親クラブ（小林美奈子会長）主催による「ママのためのメンタルヘルス講座」を開催しました。

講師に獨協医科大学病院看護部より乾寛美氏を招き、子育て中の悩みやしつけのポイントなど、乾さんの経験を踏まえながらお話していただきました。

子どもの気持ちに共感することやスキニップの大切さなどを学び、子育てに少し疲れ気味だったママたちも、子どもへの愛情を再確認できた有意義な時間になりました。



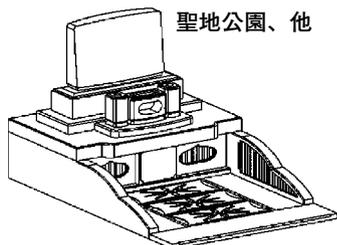
## 新春「夢まつり」を開催 安塚中央自治会

1月23日、安塚中央自治会（安生勝英会長）では、コミュニセンターにおいて、恒例の新春「夢まつり」を開催しました。

今年は、開会時に全員で壬生町民の歌を合唱したり、歌手の五家英子さんを招いたり、一段と盛り上がりを見せました。五家さんはボランティア歌手として、県内の福祉施設に車椅子を372台贈り続けているそうで、みなさん感動して聴いていました。

その後は、ビンゴゲームやカラオケ、福引などで新春の一日を楽しみ、有意義な交流会になりました。

造園土木  
草刈・伐採  
スズメバチ駆除  
墓石・石工事  
(完成価格65万円～)



聖地公園、他



お墓ディレクターにご相談下さい

(株)県南環境 TEL 82-6700

大師町25-5/展示場：小金井駅東

## 《お任せください》

皆様の暮らしを守ります

- 壬生町清掃センター焼却設備運転管理業務
- 農業集落排水処理施設各処理場巡回管理業務

○日本下水道協会賛助会員 ○日本下水道処理施設管理業協会会員 ○東京商工会議所会員

セントラル工業株式会社

昭和49年2月設立 維持管理業全般 35年の実績

本社：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-1-8 恵比須OTビル6階  
栃木営業所：〒323-0807 栃木県小山市城東1-132-102



## 地域安全の功労者・団体表彰

1月24日、栃木県総合文化センターで開催された、第2回栃木県交通・生活安全安心県民大会において、交通安全功労者として鈴木岩夫さん（町交通安全協会稲葉支部長）が県知事表彰を受賞され、安全で安心なまちづくり功労団体として、下表町自治会防犯部、六美北部・パパ・ママ・子供ワンワンパトロール隊、六美北部・あけぼのワンワンパトロール隊が、県知事感謝状を受賞されました。

受賞者である、鈴木岩夫さんをはじめ、各団体を代表し、下表町・瀬尾自治会長、六美町北部・石島自治会長、あけぼのワンワンパトロール隊・毛塚隊長が出席し賞状を受け取りました。

## 節分会 児童館

1月29日、児童館において節分会が開催されました。

これは子どもたちに節分の由来や意味を知って、豆まきを楽しんでもらうことを目的としています。

幼児の部では、赤・青・黄色の鬼が登場すると、子どもたちは大騒ぎで、鬼を退治しようと一生懸命に豆をまきました。

次に、小学生の部では、外に出て鬼たちとゲームで対戦しました。元気いっぱいの子供たちに鬼たちは降参してしまいました。

どちらの部でも、鬼退治を頑張った子どもたちは、お宝まきで福の神にごほうびをたくさんもらい大喜びでした。



## 栃木県元気な農業コンクール 奨励賞受賞



2月2日、栃木県公館で行われた第4回栃木県元気な農業コンクールいきいき農村部門表彰式において、「壬生町農村生活研究グループ協議会花き生産部会マミーポットみぶ」（鯉沼玲子部会長）が、女性・高齢者活動の部で奨励賞（栃木県農政部長賞）を受賞し、その報告に町長室を訪れました。

いきいき農村部門（女性・高齢者活動の部）は、農村地域で、女性若しくは高齢者が中心となり、男女共同参画推進や女性起業、高齢者の社会参画、地域社会の発展・活性化等の積極的な活動を行っている組織または個人を対象とし、審査・表彰するものです。

### 新企画 格安クラスレッスン 週1回コース(月謝)2,000円 週2回コース(月謝)3,500円

- やさしいピラティス  
水金(10時~11時) 木土(19時~20時)  
<胸式呼吸でストレッチするエクササイズ>
- やさしい自力整体  
火木(10時~11時) 月金(18時~19時)  
<自力で疲労回復と体力強化になる整体>
- やさしいサルサ  
月(19時~20時) 木(18時~19時) 土(20時~21時)  
<一人で踊るシャイン・二人で踊るペアダンス>
- やさしい社交ダンス  
火金(11時~12時) 金(13時~14時)  
<男女が音楽に合わせて踊るペアダンス>



入会随時、お気軽にお問い合わせください。  
**DANCE STUDIO Moriguchi**  
壬生町至宝3-8-6 ☎82-8852

## 広告募集

「広報みぶ」に、お店や会社のPR、事業やイベントの宣伝など、町民の暮らしに役立つ広告を有料で掲載しませんか？

「広報みぶ」は壬生町民の皆さんに広く親しまれており、広告を掲載するには最適なメディアです。ぜひご活用ください。町ホームページへのバナー広告掲載も随時募集しています。詳しくは下記までお問い合わせください。

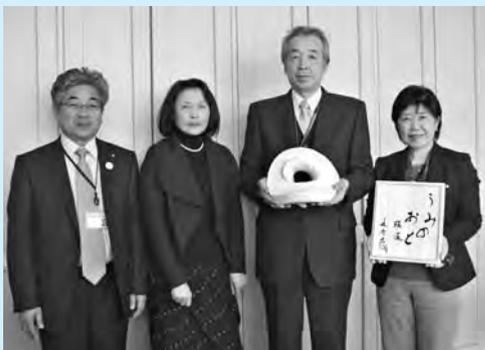
◎問合せ先 ●町総務部企画財政課情報広報係 ☎81-1814

# 水や海の作文「ざぶん賞」にて、

## 「ざぶん大賞」(藤井小学校 増川君)、 「ざぶん・環境教育特別賞」(壬生小学校)を受賞

水や海をテーマにした詩や作文を表彰する「2010ざぶん賞」で、藤井小学校6年の増川祐太君の作文が全国6,084点の中から最優秀賞である「ざぶん大賞」に選ばれました。また、壬生小学校に対しては「ざぶん・環境教育特別賞」が贈呈されました。

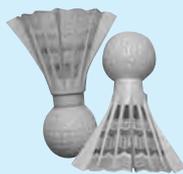
大賞に選ばれた増川君の作品は、初夏の姿川での釣り体験を元に自然の大切さについてかかれており、2度目の応募での快挙となりました。



## 壬生町チームが県大会団体戦で初優勝、 個人女子シニアの部も優勝

11月21日、足利市アカシアTBG場で開催された第21回県民ターゲット・バードゴルフ交流大会(15団体、150名参加)において、壬生町チームが県下の強豪チームを破り、創部6年目で念願の初優勝をしました。

また、個人女子シニアの部では、角田時子さんが見事優勝しました。



# 教育・文化・スポーツの振興に取り組む

## 「みんなで！壬生町教育委員会です！」

### 第10回「壬生町の男女共同参画への取り組み」

平成21年度壬生町住民意識調査結果報告書によると、「男女の平等感」については、次のような結果が出ています。(数字は「男女が平等である」と回答した人の割合です。)

- ① 家庭生活では……………39・1%
- ② 学校教育の場では……………73・2%
- ③ 職場では……………27・3%
- ④ 自治会等の地域社会では……………37・5%
- ⑤ 社会通念、慣習、しきたりなどでは……………26・2%
- ⑥ 政治の場では……………21・2%
- ⑦ 法律や制度の上では……………49・5%
- ⑧ 社会全体の中では……………23・0%

このような状況を踏まえ、壬生町では、男女共同参画社会の実現を目指し、「壬生町男女共同参画プラン」(2007～2016)を策定し、様々な取り組みを展開しています。

◆壬生町男女共同参画推進委員会・壬生町男女共同参画推進庁内連絡会議による、個別・合同の研修と施策推進  
◆町民への学習機会の提供  
(広報紙・HPによる情報提供、男女共同参画講演会、男女共同参画セミナー)

男女共同参画社会とは、男性と女性が、お互いその人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、それぞれの個性と能力を十分に発揮することができる社会です。

壬生町では、男女共同参画の町づくりを通し、住みよい、これからも住み続けたい町を目指していきます。

## 認めあい 支えあう 男女共同参画のまち・みづ

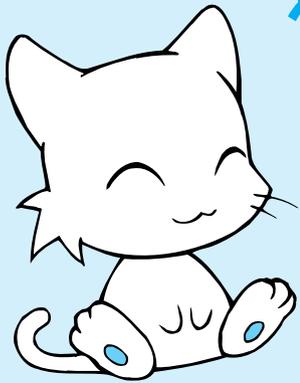


セミナーでのそば打ちの様子



セミナーで講演を行う臼井佳子さん(栃木放送パーソナリティー)

# みんなの広場



わが家のアイドル



小林 樹ちゃん(H22.2.17生)  
(六美町北部)



清水 柁太郎ちゃん(H21.2.1生)  
(安塚南部)



細井 春星ちゃん(H21.2.25生)  
(原坪)



篠原 彪太郎ちゃん(H22.2.20生)  
(六美町南部)

今回は4月生まれのアイドルを募集します。写真は掲載後にお返しいたします。

【締 切】3月18日

【必要事項】氏名(ふりがな)、保護者名、生年月日、電話番号

【申込方法】必要事項を明記の上、役場企画財政課または稲葉・南犬飼出張所、生涯学習館まで

【申 込 先】町総務部企画財政課情報広報係  
〒321-0292

壬生町通町12-22

Eメールアドレス

info@town.mibu.tochigi.jp

「しもつけ古墳群」の中では、吾妻古墳、御鷲山古墳、横塚古墳や兜塚古墳から出土しています。

今回は、古墳時代の甲冑の一つである掛甲について紹介します。掛甲は約800枚の小札といわれる鉄板をつなぎあわせて造られた甲冑です。今回展示している「武人像」が着けている掛甲は、推古天皇元年(593)に飛鳥寺が造営された際、数々の財宝とともに埋納されたものです。掛甲は一枚一枚の小札を鉄板で作るなど、当時の製作技法を用いて忠実に復元したものです。このため全体の重量が40〜50kgに達する重量感のある甲冑に仕上げられています。飛鳥寺の造営者が蘇我馬子であるため、この甲冑は彼が所用していたものを埋納したと推測されています。特に両肩の部分は、鉄板を筒状になぎ合わせたもので、着脱が簡単にできるように造られています。



掛甲を着けた武人像

横塚古墳からは大量の小札が出土しており、飛鳥寺出土の掛甲と同様の肩の部分の小札も確認されています。また兜の一部も出土していることが判明しました。上三川出土の掛甲には、手の甲を護る箇所の小札と考えられる、他の小札よりも小さなものがあります。このように「しもつけ古墳群」に眠る権力者たちの副葬品の中に、甲冑が多く見られるということは、当時の緊張した大陸との関係を反映しているのかも知れません。

## 歴史民俗資料館だより

発掘された遺跡シリーズ(18)

### 『しもつけ古墳群』

#### 掛甲を着けた武人像

3月13日まで開催中の資料館企画展「しもつけ古墳群」について紹介します。

今回は、古墳時代の甲冑の一つである掛甲について紹介します。掛甲は約800枚の小札といわれる鉄板をつなぎあわせて造られた甲冑です。今回展示している「武人像」が着けている掛甲は、推古天皇元年(593)に飛鳥寺が造営された際、数々の財宝とともに埋納されたものです。掛甲は一枚一枚の小札を鉄板で作るなど、当時の製作技法を用いて忠実に復元したものです。このため全体の重量が40〜50kgに達する重量感のある甲冑に仕上げられています。飛鳥寺の造営者が蘇我馬子であるため、この甲冑は彼が所用していたものを埋納したと推測されています。特に両肩の部分は、鉄板を筒状になぎ合わせたもので、着脱が簡単にできるように造られています。

問合せ先

歴史民俗資料館  
☎ 82-8544

# 特別敬老金 「100歳」おめでとうございます。



山中 倉吉 さん

- ・山中 倉吉 さん (12月18日生)
- ・宇賀神 セツ さん (1月2日生)
- ・西山 美代子 さん (1月3日生)

壬生町では、10年以上本町に暮らし、100歳を迎えられた方に、敬老金を贈り長寿を祝っています。平成4年4月から実施しているものですが、今年度は3名の方が満100歳を迎えられました。

町長が訪問すると、どの方もおだやかな様子で出迎えて下さり、花束を手渡しますと、にっこりと笑顔で受け取っていらっしゃいました。



西山 美代子 さん



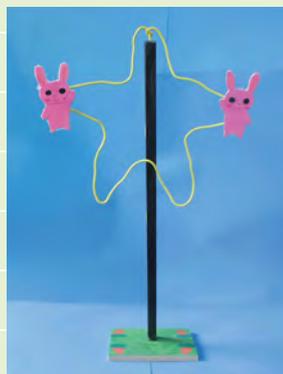
宇賀神 セツ さん

## お知らせ あげぼの会と交流しませんか

壬生町児童館では、六美北部あげぼの会と交流を行っています。

おじちゃんおばあちゃんにベイゴマやおはじきを教わったり、児童館で人気の人生ゲームをしたりと、楽しい遊びがいっぱいです。

次の交流会は3月12日(土)に予定していますので、是非みなさんもお気軽に遊びに来てみてはいかがでしょうか？皆さんのご来館をお待ちしています！



作品「星からきたウサギさん」



睦小6年  
根本 あおい



睦小6年  
栗原 勇士



作品「どっちが勝つかな」



壬生北小1年  
森田 凜

表紙の写真  
壬生まちづくりカルタ46作品が決定しました！  
詳しくは3月23日発行の広報みぶ3月号に掲載予定ですのでお楽しみに！

